

1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり		元年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 環境担当課長
施策名	港湾活動のグリーン化		成果	コスト			
事務事業名	低炭素化の取組の推進		継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7892 港営課
目的	対象(誰・何を)	本組合施設で使用するエネルギー				事業 期間	令和元年度～令和5 年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	低炭素化を図り、地球温暖化の抑制を目指します。					
概要	再生可能エネルギーの導入や、省エネルギー施策として照明設備のLED化を推進します。					根拠 法令等	
令和2年度の実施予定	本庁舎・港湾会館において再生可能エネルギー100%電気(以下再エネ100%電気)の調達開始 省エネルギー施策(照明設備のLED化)の計画策定					実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
						関連 シート	

2 DO(実施)

令和2年度に実施した 内容・結果	再エネ100%電気調達については、本庁舎・港湾会館において5月から開始しました。また、道路照明・庁舎・荷捌き地・上屋・緑地等の照明設備のLED化について計画を策定しました。					
コスト	単位	30年度	元年度	2年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円		17,594	0	8,797	令和2年度は委託調査を実施する計画としていませんでした。また2年度から名港トリトライトアップの項目を魅力ある港湾景観の形成へ移動したため減少しました。
人件費	千円		15,596	9,174	12,385	
合計	千円		33,190	9,174	21,182	

3 CHECK(検証)

成果目標名		30年度	元年度	2年度	最終目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
新たな再生可能エネルギーの導入に向けた進捗状況	目標		1	2		3	以下の項目のうち、完了した工程数 ①導入手法の選定、②本庁舎・港湾会館への再エネ電気調達開始③その他施設での再エネ電気の調達開始 ※令和元年度の検討の結果、CO2削減効果やコスト面で有効な再生可能エネルギー電気の調達を進めることとしたため目標値及び工程を変更しました。	
	実績		1	2				
(進行管理型)	事業進捗状況(2年度)			(順調) やや遅れ・遅れ				
照明設備のLED化の進捗状況	目標		1	2		4	以下の項目のうち、完了した工程数 ①効果の検証、整備手法等の検討、②全体計画の策定、③LED化の着手、④他施設への拡大	
	実績		1	2				
(進行管理型)	事業進捗状況(2年度)			(順調) やや遅れ・遅れ				
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	再エネ電気の調達については、令和2年度から本庁舎・港湾会館で開始しており、順調に進捗しています。また、照明設備のLED化についても全体計画を策定し、順調に進捗しています。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	○	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？						
有効性	○	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？						
効率性	○	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？						
	○	期待どおりの成果が得られているか？						
	○	最小のコストとなっているか？						
	○	コストが最小となるよう、先進事例を活用しながら検討・調整を進めました。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	3年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画に基づき、CO2削減を進める必要があるため。
資源(財・人)の投入は維持したまま、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。			
課題		3年度以降の取組	
本庁舎・港湾会館以外の本組合の施設についても再生可能エネルギー電気の調達を進めるとともに、照明設備のLED化については計画どおり実施するよう各施設の管理部署と調整を進めていく必要があります。		本組合が高圧受電契約している全14施設についても再エネ100%電気の調達は開始します。また、照明のLED化を順次実施していきます。	

1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく・夢・うるおいにぎわいのある親しまれる港づくり		元年度事業・施策評価結果		責任者	企画調整室 企画担当課長	
施策名	港湾活動のグリーン化		成果	コスト			
事務事業名	LNGバンカリング拠点形成の支援		継続	維持	維持	連絡先 052-654-7906	
目的	対象(誰・何を)	LNGバンカリング拠点				事業期間	令和元年度～
	意図(どういう状態にしたいか)	形成できるよう支援していきます。					
概要	世界的な海事分野における環境規制の強化に伴い、大気環境に与える影響が少ない船舶燃料のLNG化が進むことが予想されます。こうしたことから、LNGバンカリング拠点形成に向けてLNG燃料船の寄港促進のための環境を整備していきます。				根拠法令等		
令和2年度の実施予定	LNGバンカリング拠点形成に向けて、LNG燃料船及びLNG燃料供給船の本港への配船の動向や課題等について、民間事業者と情報共有や協議を実施します。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
					関連シート		

2 DO(実施)

令和2年度に実施した内容・結果	LNGバンカリング拠点形成に向けて、LNG燃料船及びLNG燃料供給船の本港への配船の動向や課題等について、民間事業者と情報共有や協議を実施しました。また、伊勢湾海難防止協会が主催する委員会に参加し、本港におけるLNG燃料供給事業拡大に係る船舶航行安全に関する調査研究を行いました。					
コスト	単位	30年度	元年度	2年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円		0	0	0	
人件費	千円		3,670	3,664	3,667	
合計	千円		3,670	3,664	3,667	

3 CHECK(検証)

成果目標名		30年度	元年度	2年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
情報共有や協議の回数 (単年度管理型)	目標		3	3		3	LNGバンカリングに関する情報共有や協議の回数	
	実績		3	7				
	事業進捗状況(2年度)		<input checked="" type="radio"/> 目標値を上回る <input type="radio"/> 目標値をやや下回る		<input type="radio"/> 目標値どおり <input type="radio"/> 目標値を下回る			
	目標							
	実績							
事業進捗状況(2年度)		順調・やや遅れ・遅れ						
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)		民間事業者と情報共有や協議を重ね、LNGバンカリングを取り巻く状況を把握することが出来ました。						
必要性・有効性・効率性の検証		評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	<input type="radio"/>	LNGバンカリング拠点形成の支援は、大気環境に与える影響が少ないLNGを燃料とする船舶の入港を促進していく上で必要です。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	<input type="radio"/>	LNGバンカリング拠点形成の支援は、LNG燃料船の寄港促進を図ることとなるため、港湾活動のグリーン化に貢献します。					
	期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/>						
効率性	最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/>	民間事業者と協力して実証実験を実施するなど、効果的に取り組んでいます。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	3年度以降の方向性		判断理由
		成果	
継続	維持	維持	引き続き、LNG燃料船の寄港を促進する必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			3年度以降の取組
LNG燃料船及びLNG燃料供給船の令和5年度の目標入港隻数80隻を目指し、まず本港へ円滑かつ安全に入港してバンカリングを実施できる環境を、関係者が協力して整えることが必要です。			LNG燃料船及びLNG燃料供給船の本港への配船の動向を注視しながら、ソフト面やハード面において必要な環境を関係者で協力して整えていきます。